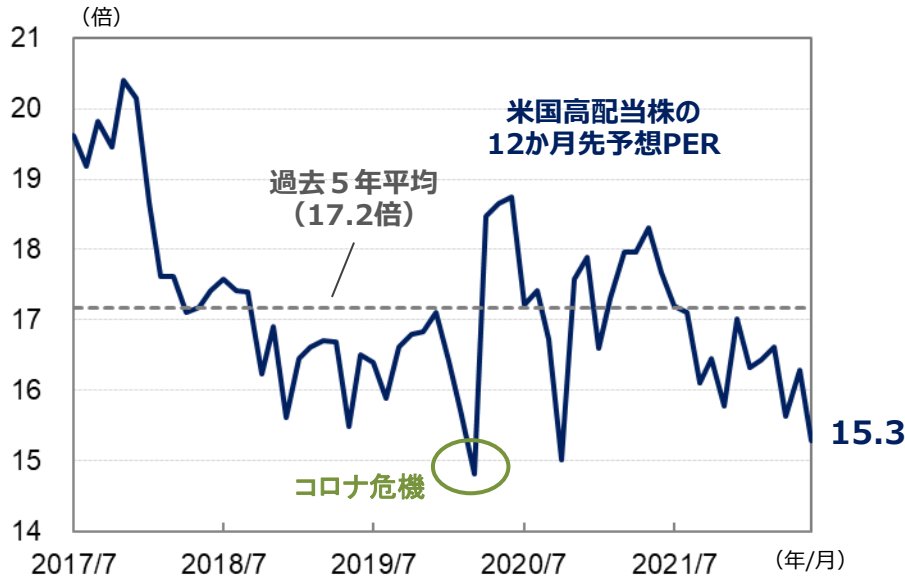




足元の米国高配当株は割安な水準、一株当たり利益（EPS）は増加する見通し

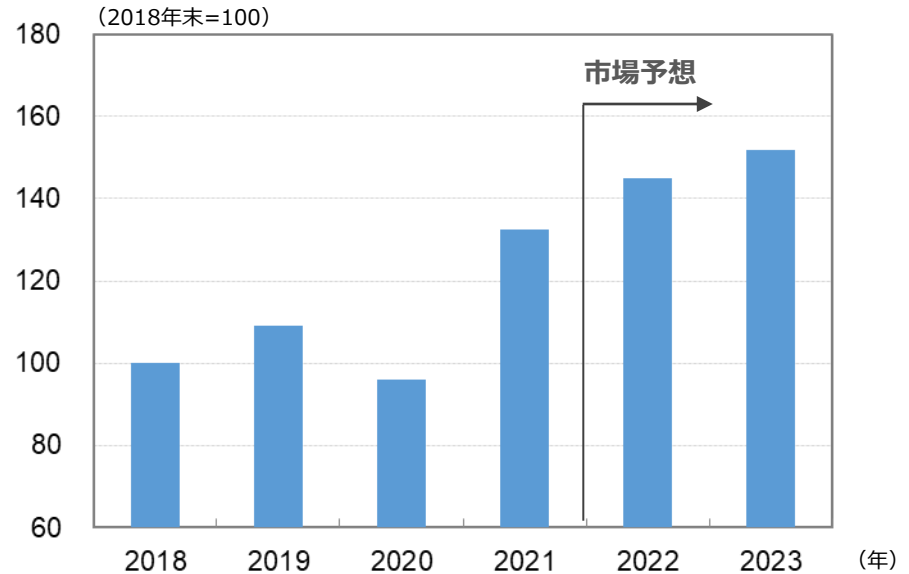
- 米国高配当株のバリュエーション（12か月先予想PER）は、2022年6月末時点で15.3倍と、過去5年平均を下回って推移しており、割安な水準であると考えられます。
- 足元の米国経済に対してはインフレの高止まりや金融引き締め等のリスクが警戒されていますが、米国高配当株の一株当たり利益（EPS）は2022年以降も増加することが見込まれています。インフレによるコスト上昇圧力が高まる中、今後も米国企業が増益を維持できるか注視が必要ですが、EPSの増加は株価の上昇要因となることが期待されます。

米国高配当株の12か月先予想PER



(出所) ブルームバーグ (期間) 2017年7月～2022年6月
 ※米国高配当株：S&P高配当貴族指数 ※月次データ

米国高配当株の一株当たり利益（EPS）



(出所) ブルームバーグ (期間) 2018年～2023年
 ※米国高配当株：S&P高配当貴族指数 ※市場予想は2022年7月4日時点



**足元の米国高配当株のバリュエーションは過去5年平均を下回る割安な水準。
 一株当たり利益（EPS）は増加することが予想されており、今後の株価の上昇要因となることに期待。**